

12/27 (水) の発表

報道発表資料の配付日時 12月27日 (水) 15時00分

発表項目 (行事名)	「2023年を振り返って<胆振版>」及び「2024年に予想される動き<胆振版>」について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>胆振総合振興局が、2023年に取り組んだ主な事項（「2023年を振り返って」）及び、2024年に予想される主な取組事項等（「2024年に予想される動き」）について、別添のとおり取りまとめましたので、お知らせします。</p> <p>【FAX枚数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年を振り返って<胆振版> (11枚) ・2024年に予想される動き<胆振版> (3枚) <p style="text-align: right;">本票含め 計15枚</p>		
参考	<p>※大冊のため資料は2 in 1 サイズで送付しています。</p> <p>標準サイズの資料については、胆振総合振興局HP「報道発表」ページにPDFデータで掲載しています。</p> <p>【URL】 https://www.iburi.pref.hokkaido.lg.jp/ts/tss/sesaku/174422.html</p>		

報道（取材） に当たって のお願い	
他のクラブ との関係	同時配付

担当 (連絡先)	胆振総合振興局地域創生部地域政策課 地域政策課長 野々村 TEL (ダイヤルイン) : 0143-24-9506 (内線 : 2150)
-------------	---

2023年を振り返って

<胆 振 版>

2023年12月

胆振総合振興局



目次

胆振の概況	
<農業の概要>	1
● 作物の生育状況等	
<林業の概要>	1
● 木材産業	
● 森林整備	
<水産業の概要>	1
● 漁業生産高の状況	
<経済状況等の概要>	2
● 経済状況	
● 雇用状況	
● 観光入込客数の状況	
<主な災害の発生状況>	3
● 林野火災による被害（4月4日）	
● 擁壁崩壊に伴う住家被害（6月10日）	
● 浦河沖を震源とする地震による被害（6月11日）	
● 大雨と暴風による被害（10月5日～6日）	
● 大雨と暴風による被害（11月17日～18日）	
<新型コロナウイルス感染症対応>	4
● 新型コロナウイルス感染症の状況	
地域政策課	5
● 「北海道いぶり五大遺産」魅力発信事業	
● 教育旅行誘致促進事業	
● 移住・定住、関係人口創出に向けた取組	
● 北海道知事選挙及び北海道議会議員選挙の執行	
● 胆振東部地震被災地復興現地視察会の開催	
危機対策室	7
● 防災対策や地域防災力の向上に係る取組み	
環境生活課	8
● ウポポイの開業3周年	
● 縄文遺跡群PR事業	
● 秋篠宮皇嗣同妃両殿下のお成り	
● いぶりガイアナイト2023の開催	
● TEAM「ゼロカーボンいぶり」の輪の広がり	

商工労働観光課	9
<ul style="list-style-type: none"> ● 北海道経済対策胆振地方推進本部 ● ものづくり企業現場見学会 ● 令和6年(2024年)3月高校卒業予定者に対する「企業説明会」の開催 ● いぶり人財懇話会の開催 ● 胆振地域人材確保・定着促進事業の実施 ● いぶり観光・教育旅行誘致促進事業の実施 ● いぶり・食ブランド推進事業の実施 	
農務課	14
<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度胆振管内スマート農業研修会を開催 ● 令和5年度(2023年度)有機農業技術に関する現地研修会の開催 	
林務課	14
<ul style="list-style-type: none"> ● 胆振東部地震に係る復旧の取組 ● ゼロカーボン×震災復興・森林再生 ● 林業担い手の育成・確保に関する取組 ● 第73回北海道植樹祭の開催 	
水産課	16
<ul style="list-style-type: none"> ● 「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」の開催 ● A L P S 処理水海洋放出に伴う中国政府の日本産水産物の輸入停止 ● 地域住民への地元食材PRの実施 ● 北海道大谷室蘭高校にて食育授業を実施 ● 食べる・たいせつフェスティバル2023に出展 ● 漁業権の一斉切替 ● ししゃも資源減少 	
森林室	17
<ul style="list-style-type: none"> ● RALLY EAST-IBURI 2023の開催支援 	
室蘭建設管理部	17
<ul style="list-style-type: none"> ● 二級河川ブウベツ川改修事業の完成 ● トマチャナイ川砂防事業の完成 	
胆振教育局	18
<ul style="list-style-type: none"> ● 壮瞥小児童が有珠山をガイド ～修学旅行で訪れた鶴田小児童との交流～ 	

胆振の概況

<農業の概要>

● 作物の生育状況等

春先から5月下旬まで、気温と日照時間はほぼ平年並み、降水量は少なかったが、6月から7月にかけて降水量は平年よりかなり多くなり、その後、高温が続いたことから各作物の生育は近年にない早さで進み、水稲の管内作況指数は104の「やや良」となった。一方、記録的な猛暑により、一部の作物には品質の低下など影響が見られた。

<林業の概要>

● 木材産業

世界的な木材需要の高まりに起因する輸入材価格の高騰（いわゆるウッドショック）が収束したことにより安定的に原木を確保できるようになったが、物価高騰による経費の増大や住宅着工数の減少等により製材需要が減り工場の経営を圧迫している。

木質バイオマス資源の利用量については、平成29年(2017年)に運転を開始した苫小牧バイオマス発電所が順調に稼働していることに加え、令和4年(2022年)には勇払バイオマス発電所においても発電事業が開始されたことにより、増加傾向が続いている。

● 森林整備

管内一般民有林における人工林面積は約38,000haあるが、森林所有者は森林の多面的機能の発揮を図るため、国の補助事業等を活用し計画的に森林の整備を行っており、令和5年(2023年)については植栽面積約300ha、下刈り面積約1,400ha、間伐等の保育面積約600haを実施した。

また、平成30年(2018年)9月に発生した北海道胆振東部地震の被害森林において被害地造林を約90ha、被害木整理を約60ha、森林作業道の開設を約26,000m実施した。

<水産業の概要>

● 漁業生産高の状況

令和5年の11月現在の胆振管内の漁業生産量は、ホタテガイが約9千9百トン（前年同期比85%）、サケが約255トン（同比21%）と大幅に減少し管内全体では約30万2千トン（同比89%）程度となっている。

生産額では、ホタテガイが36億9千万円（前年同期比102%）と前年程度となっており、カレイ類やタラのほかホッキガイ等が昨年を上回る金額となるものの、サケは2億5百万円（同比20%）程度となり、管内全体では97億5千万円（同比97%）、最終的には昨年に続き100億円を超える見込みとなっている。

<経済状況等の概要>

● 経済状況

胆振管内の経済状況について、室蘭地域の粗鋼生産量は前年同期と比較して減少しており、苫小牧地域の製紙品出荷実績も前年同期と比較して減少している一方で、原油処理実績及びエンジン出荷台数は、概ね前年同様の水準で推移している。

また、消費動向の指標となる大型店販売額は、室蘭地域、苫小牧地域ともに前年から横ばいとなっている。

○ 室蘭地域主要経済指標（室蘭商工会議所公表資料）

・粗鋼生産量

令和4年(2022年)1月～9月累計：14,360百トン

令和5年(2023年)1月～9月累計：12,736百トン（前年同期比88.7%）

○ 苫小牧地域主要製造業生産動向（苫小牧商工会議所公表資料）

・製紙品出荷実績

令和4年(2022年)1月～9月累計：713千トン

令和5年(2023年)1月～9月累計：595千トン（前年同期比83.5%）

・原油処理実績

令和4年(2022年)1月～9月累計：4,215千キロリットル

令和5年(2023年)1月～9月累計：4,894千キロリットル（前年同期比116.1%）

・エンジン出荷台数

令和4年(2022年)1月～9月累計：6,065台

令和5年(2023年)1月～9月累計：5,954台（前年同期比98.2%）

○ 大型店販売額（室蘭商工会議所、苫小牧商工会議所調べ）

・室蘭地域 令和4年(2022年)9月：1,338百万円

令和5年(2023年)9月：1,388百万円（前年同月比103.7%）

・苫小牧地域 令和4年(2022年)9月：1,402百万円

令和5年(2023年)9月：1,360百万円（前年同月比97.0%）

● 雇用状況

胆振管内の雇用状況は、有効求人倍率（常用）は前年同期より下がっており、新規高卒者の就職内定率は前年同期を上回っている。

○ 胆振管内*の雇用情勢（令和5年(2023年)10月現在）

※ ハローワーク苫小牧・室蘭の管轄地域（日高町、平取町含む）

・有効求人倍率（常用）：1.22倍（前年同期 1.42倍）

・新規高卒者の就職内定率：81.0%（前年同期 79.5%）

● 観光入込客数の状況

令和4年度（2022年度）の観光入込客数は、14,175.6千人で、前年度（9,479.5千人）と比較して4,696.1千人の増加（前年度比149.5%）となった。道の旅行需要喚起策である「どうみん割」と全国旅行支援事業の「HOKKAIDO LOVE!割」、市町独自の旅行支援事業の実施、各地のイベントや各施設の営業が再開したこと等により、前年度より観光入込客数が増加したものと考えられるものの、コロナ禍前の令和元年度（2019年度）（16,179.7千人）との比較では2,004.1千人の減少（令和元年度(2019年度)比87.6%）となっている。

また、令和4年度（2022年度）の訪日外国人宿泊客数（延べ数）は189,902人泊で、前年度

(2,800人泊)と比較して187,102人泊の増加(前年度比6,782.2%)となった。令和4年(2022年)6月の観光ビザの取得や添乗員付きのツアー客のみなどの出入国制限付きでの外国人観光客の受け入れ再開や、10月の個人客の受け入れ再開などが増加の要因となったものの、コロナ禍以前の令和元年度(2019年度)(820,057人泊)との比較では630,155人泊の減少(令和元年度(2019年度)比23.2%)となっている。

〈主な災害の発生状況〉

● 林野火災による被害(4月4日)

昼過ぎに伊達市南黄金町で林野火災が発生し、西胆振行政事務組合消防本部のほか、北海道広域消防相互応援協定に基づく室蘭市消防本部及び苫小牧市消防本部による広域応援、北海道消防防災ヘリコプター及び札幌市消防局ヘリコプターによる空中消火により、同日夕方に鎮圧した。

この林野火災により約15.4haが焼損したが、人的及び建物被害は生じなかった。

● 擁壁崩壊に伴う住家被害(6月10日)

登別市美園町において、民有地の擁壁の崩壊により住家被害が2件発生した。これにより、同町に居住する住民が避難所へ避難(最大13世帯22名)した。

● 浦河沖を震源とする地震による被害(6月11日)

18時54分、浦河沖を震源とするマグニチュード6.2の地震が発生し、厚真町で震度5弱、室蘭市、苫小牧市、安平町及びむかわ町で震度4を観測した。

この地震により、室蘭市で1名の負傷者(転倒による中等症程度)、安平町で非住家被害が1件発生した。

● 大雨と暴風による被害(10月5日～6日)

発達した低気圧が日本海から北海道へ接近し、胆振中部を中心に大雨・暴風となった。

この大雨と暴風により、住家の一部破損が室蘭市で5件、登別市で1件、白老町で1件、非住家の床上浸水が登別市で1件、一部破損が室蘭市で5件発生した。

● 大雨と暴風による被害(11月17日～18日)

発達した低気圧が日本海から北海道へ接近し、胆振中部、西部を中心に大雨・暴風となった。

この大雨と暴風により、住家の一部破損が室蘭市で6件、登別市で1件、非住家の一部破損が室蘭市で5件、白老町で6件が発生した。

また、伊達市と壮瞥町では、「高齢者等避難」が発令された。

〈新型コロナウイルス感染症対応〉

● 新型コロナウイルス感染症の状況

令和2年2月に感染者が確認されて以降、管内の感染状況を踏まえながら、管内市町、関係機関と連携し、住民への感染予防対策や、注意喚起などの感染拡大防止に向けた様々な取組を実施してきた。

令和5年5月に感染症法上における位置づけが「2類感染症」から「5類感染症」に変更され、外出等の行動制限の解除、感染者の全数把握の終了、保健所等による健康観察や支援物資の配付などの各種支援が終了したところであり、医療提供体制についても、入院措置を原則とした特別な対応から、幅広い医療機関による通常の対応への移行が進められている。

現在においても、指定医療機関による患者数の定点把握が行われており、その動向を注視しながら、必要に応じて感染症の影響を受けやすい医療機関や社会福祉施設等に対して、感染予防対策の徹底を呼びかけている。

地域政策課

● 「北海道いぶり五大遺産」魅力発信事業

世界的・全国的にも価値のある地域資源（「洞爺湖有珠山ジオパーク」、「アイヌ文化」、「縄文遺跡群」、「むかわ竜」、「炭鉄港」）を『北海道いぶり五大遺産』と位置付けて、その価値や魅力を発信するとともに、観光客の誘致に向けた取組などを行った。

○ 北海道いぶり五大遺産ポータルサイトの作成・運用

道内外に広く北海道いぶり五大遺産を周知するため、PC及びスマートフォンの両方に対応したWebサイトを作成。サイトは、五大遺産を中心に胆振の観光情報、移住情報等を掲載。

○ タイ旅行博覧会

Thai Travel Agents Association (TTAA)主催の旅行博覧会に出展するとともに、現地の旅行会社に訪問して、いぶり五大遺産を含めた胆振地域の観光PRを実施。

日 程：2月16日～19日

場 所：バンコク（クイーンシリキット・ナショナルコンベンションセンター）

○ 「JRヘルシーウォーキング」への出展

JR北海道が主催の「JRヘルシーウォーキング」において、「炭鉄港」を含む「いぶり五大遺産」や胆振の観光PRを実施。

場 所：5月28日…室蘭市 JR室蘭駅

9月9日…安平町 道の駅D51ステーション

内 容：いぶり五大遺産関連及び観光パンフレットの配布、石炭の重さ当てクイズを通じたPR（空知総合振興局との合同実施）

○ 「宮古市産業まつり」への出展

岩手県宮古市主催の「宮古市産業まつり」において、「いぶり五大遺産」や胆振の観光のPRを実施。

日 程：9月30日、10月1日

場 所：岩手県宮古市 宮古市民総合体育館

内 容：いぶり五大遺産関連及び観光パンフレットの配布、アイヌ文様入りオリジナルエコバッグ作り体験を通じたPR

○ アイヌ文化体験モデル事業の実施

アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道の開催等によるアドベンチャートラベル需要の高まりを捉えるため、豊浦町や一般社団法人噴火湾とようら観光協会と協力して新たな商品造成に向けたモニターツアーを実施。

日 程：10月24日、25日

場 所：礼文華海浜公園キャンプ場

内 容：カムイチャシ史跡公園の見学、勾玉作り体験、アイヌの方との語らい
オハウ作り体験、鮭の水揚げ見学

● 教育旅行誘致促進事業

北東北を中心とする道外からの教育旅行の誘致に向けて、いぶり五大遺産をはじめとする、地域資源を活かしながら、管内市町と連携し、青森県へのトッププロモーションをはじめとしたPRを実施。

また、充実した教育旅行実施に向けて、道外交と管内の学校との学校交流を支援。

○ 教育旅行・観光PR（広島）

日 程：6月15日、16日

場 所：広島国際会議場

内 容：（公財）北海道観光振興機構の事業に参加する形で、旅行会社やメディアに対し、胆振地域やアクティビティの紹介などを通じたPRを実施。

また、北海道観光振興機構とともに、広島県及び山口県の高校（全6校）に直接訪問し、教育旅行の行き先や予算、人数の聞き取りと胆振地域のPRを実施。

○ 鶴田小-壮瞥小 教育旅行学校間交流

日 程：6月15日、6月29日

場 所：壮瞥町

内 容：教育旅行で来道した青森県の鶴田小学校が、胆振管内の壮瞥小学校と学校交流を実施。

（6月15日）事前交流 両校の地元紹介、顔合わせ（オンライン）

（6月29日）当日交流 壮瞥小学校の生徒による洞爺湖、有珠山の紹介。（有珠山展望台）

○ 月刊紙「教育旅行」への寄稿

内 容：（公財）日本修学旅行協会が、主に関東の学校向けに発行している月刊誌「教育旅行」に胆振地域の紹介や学校交流の流れ、実施した学校からの感想を掲載。

掲載月：2023年9月号及び電子版

○ 青森県へのトッププロモーション

日 程：11月27日、28日

場 所：青森県弘前市及び青森市

内 容：室蘭市、登別市、壮瞥町、洞爺湖町の各首長及び津軽海峡フェリーより旅行会社、青森県内の小中高校や専門学校、大学等に対し、教育旅行を含めた観光客誘致に向けた地域の魅力・取組をPR

● 移住・定住、関係人口創出に向けた取組

○ 移住・定住プロモーション

<JOIN移住・交流&地域おこしフェア2023への出展>

- ・東京ビックサイトで開催される「JOIN移住・交流&地域おこしフェア2023」（（一社）移住・交流推進機構主催）にブースを出展し、来場者へ「いぶり暮らし」をPRした。（1月15日）

<オンライン移住セミナーの開催>

- ・胆振管内の市町と連携し、オンラインによる移住セミナーを開催した。

3月1日（水）参加者数：10名

3月9日（木）参加者数：3名

12月10日（日）参加者数：11名

○ 胆振地域でのワーケーション誘致

<ワーケーション冊子の更新・増刷>

・胆振管内へのアクセス環境が変わったため（室蘭－青森間フェリー就航）、既存の「I BUR I × WORK AT I O N－いぶりクロスワーケーション－」の冊子を更新・増刷した。また、コロナ明けによるインバウンドの回復を捉え、外国人観光客向けに英語版を作成・公開した。

【冊子内容】

- ・観光資源やアクティビティ、グルメなどを紹介
- ・モデルプランの紹介
- ・ワークスペースの紹介 など

● 北海道知事選挙及び北海道議会議員選挙の執行

北海道知事選挙が3月23日、北海道議会議員選挙が3月31日にそれぞれ告示され、4月9日に執行された。

北海道選挙管理委員会事務局胆振支所においては、広報車による巡回広報や街頭啓発等を始め、SNSを活用した若年層への啓発活動等により投票参加の呼びかけに努めたが、管内の投票率（知事選挙）は47.43%（全道51.70%）と前回の55.34%（全道58.34%）を下回った。

● 胆振東部地震被災地復興現地視察会の開催

北海道胆振東部地震から5年が経過したため、地震の記憶や経験を伝承するとともに、被災地とその応援者との更なる関係性を深めることを目的に開催。

日 程：10月28日

場 所：厚真町、安平町、むかわ町

参加者：札幌市及び周辺市在住 14名

危機対策室

● 防災対策や地域防災力の向上に係る取組み○ 管内市町等との防災担当者会議の開催

近年の局地的な豪雨など被害が甚大化する傾向にある災害発生に備え、振興局と市町、防災関係機関が「顔の見える関係」を構築し、災害時において迅速かつ的確に連携・対応できるよう、7月18日に「令和5年度胆振総合振興局管内防災関係機関等担当者会議」を開催し、情報共有を図った。

○ 北海道地域防災マスター認定研修会の開催

2月25日に、地域の防災活動等のリーダーとして活躍する「北海道地域防災マスター」の認定及び育成のため、室蘭市において北海道地域防災マスター認定研修会を開催した。研修会では、防災リーダー講座、室蘭地方气象台による講義及び避難所運営ゲーム（Doはぐ）を実施し、受講者の防災知識や意識の向上を図るとともに新たに29名を「北海道地域防災マスター」に認定した。

環境生活課

● ウポポイの開業3周年

アイヌ文化の復興・発展のためのナショナルセンター、ウポポイ（民族共生象徴空間）が、7月12日に開業3周年を迎えた。

○ 「ウポポイPR事業」の実施

<地域コミュニティFMによるウポポイからの生中継の実施>

ウポポイ3周年記念行事「ウポポイ祭2023」の各行事について周知を実施。

日 程：7月6日

場 所：白老町（ウポポイ）

<「ウポポイへ行こうパネル展」の実施>

いぶりウポポイ・応援製品やウポポイなどを紹介するパネル展を実施。

日 程：7月10日～7月14日

場 所：室蘭市（広域センタービル ロビー）

<「しらおいポロトミンタラフェスティバル2023」への参加>

アイヌ文化体験として、アイヌ文様を身近に感じてもらう体験コーナーを設置。

日 程：7月15日

場 所：白老町（ポロトミンタラ（白老駅北観光インフォメーションセンター広場））

体験者：40名

内 容：エコバッグにアイヌ文様を描くワークショップ

● 縄文遺跡群PR事業

令和3年7月に北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されたことを踏まえて縄文遺跡群のPRのための事業を実施した。

○ いぶり縄文遺跡見学ツアー

登別市内の小学生を対象に縄文遺跡群への理解を深めてもらう目的でバスツアーを実施。

日 程：8月1日

場 所：伊達市（北黄金貝塚）、洞爺湖町（入江・高砂貝塚）

内 容：縄文遺跡群の見学、まが玉制作体験及び縄文カード制作体験

○ 2024年版縄文カレンダー

縄文遺跡群のPRを目的として「あなたが思う縄文について」をテーマにカレンダーの原画募集及び制作を実施。

● 秋篠宮皇嗣同妃両殿下のお成り

秋篠宮皇嗣同妃両殿下が「令和5年度全国高等学校総合体育大会」御臨席に併せて、胆振東部地震復興状況御視察のため、7月22日に厚真町へお成りになった。

○ 厚真町吉野地区被災・復興状況御視察

場 所：厚真町土砂災害地区（吉野地区）

内 容：厚真町による被災復興状況説明・御視察

○ 被災状況御聴取等

場 所：厚真町総合ケアセンター「ゆくり」・つたえり公園

内 容：厚真町・安平町・むかわ町による被災状況説明

復旧・復興状況パネル御覧

森林再生記念植樹会

● いぶりガイアナイト2023の開催

「北海道クールアース・デイ」の取組として、7月7日に「いぶりガイアナイト2023」を開催した。

○ 「いぶりガイアナイト」の呼びかけ

地球温暖化対策の取組の実践に向け、各家庭において電気照明を消してローソクの灯りの中で地球環境への思いを巡らせてもらうよう呼びかけるため、地域コミュニティFM（FMびゅー）による広報及びむろらん広域センタービルにおけるパネル展示、エコキャンドルの配布等を行うとともに、CO₂削減「ライトダウンキャンペーン」として、関係機関と連携し、室蘭のシンボルである「測量山」と「白鳥大橋」のイルミネーションを消灯した。

○ 「いぶりガイアナイトギャラリー」の開催

11月20日から24日まで、むろらん広域センタービルにおいて、「#いぶりガイアナイト」でSNSへの投稿を呼びかけ応募のあった「いぶりガイアナイト」の写真等を展示するなど、地球温暖化防止に係る啓発を行った。

● TEAM「ゼロカーボンいぶり」の輪の広がり

共感で広げ、みんなで実践する「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクションとして、令和4年結成したTEAM「ゼロカーボンいぶり」（令和5年(2023年)12月15日時点で118団体等が参加）の取組として、ゼロカーボン北海道に関する普及啓発を実施した。

○ 令和4年度 TEAM「ゼロカーボンいぶり」セミナーの開催

胆振地域における再生可能エネルギーと水素エネルギーのポテンシャルについて基調講演のほかパネルディスカッションを行った。

日 程：3月23日

場 所：グランドホテルニュー王子 2階 芙蓉の間A

出席者：室蘭工業大学ほかTEAM「ゼロカーボンいぶり」メンバー、胆振総合振興局長、ほか胆振管外の官公庁や企業等

○ ゼロカーボンカレッジの開講

胆振管内・管外のパートナーと連携・協力のもと、ゼロカーボン北海道の実現に必要な人材育成を目的とし、令和5年度（2023年度）は、「農業」×「脱炭素」をテーマに、北海道伊達開来高等学校の3年次必修科目「だて学」において、外部講師による授業を複数回行ったほか、伊達市内における農業関連施設の視察を行った。

商工労働観光課

● 北海道経済対策胆振地方推進本部

地域の実情に合わせた緊急的な経済対策の効果的な実施や、道民の方々が安心して暮らし続け、事業者の方々の成長につながる取組を支援する施策の展開を図るため、令和4年（2022年）7月に設置した「北海道経済対策胆振地方推進本部」の会議を、12月までに計18回（2023年は計11回）開催。道の経済対策に関する施策の情報共有、各業界への周知を行った。

● ものづくり企業現場見学会

地元「ものづくり」企業の活動や仕事に対する理解を深めるとともに、就職意欲の向上を図るため、管内高校の生徒等を対象に、現場見学会を実施。

【室蘭会場】

日 程：7月27日

参加者：室蘭工業高校（生徒5名 教員1名 保護者1名 計7名）

見学先：五洋建設(株)、五栄土木(株)、北海道住電スチールワイヤー(株)（いずれも室蘭市）

【苫小牧会場】

日 程：8月3日

参加者：苫小牧工業高校、苫小牧高等商業学校、鷗川高校、厚真高校
（生徒11名 教員3名 計14名）

見学先：国策機工(株)、アイシン北海道(株)（いずれも苫小牧市）

● 令和6年(2024年)3月高校卒業予定者に対する「企業説明会」の開催

企業活動や仕事に対する理解を深めるとともに、職業選択の視野を広げ、地元就職の促進・定着を図るため、来春高校を卒業予定の生徒を対象に、地元企業等による企業説明会を開催。

【室蘭会場】

日 時：6月19日 13:30～16:00

会 場：蓬峯殿（室蘭市）

参加者：生徒数195名（10校）、企業・団体数67社・団体

【苫小牧会場】

日 時：6月26日 13:30～16:00

会 場：グランドホテルニュー王子（苫小牧市）

参加者：生徒数273名（15校）、企業・団体数76社・団体

● いぶり人財懇話会の開催

胆振管内の幅広い産業で人手不足が深刻化する中、関係機関が緊密に連携し、産業人材の確保に向けた効果的な施策の推進を図るため、産業団体、行政機関、教育機関等による情報共有や意見交換を行う「いぶり人財懇話会」を開催。

【室蘭会場】

日 程：11月2日

場 所：むろらん広域センタービル 3階大会議室A・B

参加市町：室蘭市、登別市、伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町

【苫小牧会場】

日 程：11月1日

場 所：苫小牧市文化交流センター 2階講習室

参加市町：苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町

● 胆振地域人材確保・定着促進事業の実施

地元企業における就業環境の改善や採用力向上、人材育成など、人材確保や定着促進に関するセミナーを開催。

【室蘭会場】

日 程：10月26日
場 所：室蘭中小企業センター2階中会議室
事業者数：10事業者

【苫小牧会場】

日 程：10月25日
場 所：苫小牧市民活動センター3階講習室
参加市町：8事業者

● いぶり観光・教育旅行誘致促進事業の実施

○ 観光プロモーション（一般）

<海外向けプロモーション（タイ）>（再掲）

日 程：2月16日～21日
場 所：タイ（バンコク）
内 容：「第28回 Thai International Travel Fair」の北海道観光振興機構ブースに出展し、観光PR及び商談を実施。
また、北海道観光振興機構主催 B to B セミナーでタイ旅行会社と意見交換を実施したほか、旅行代理店等を訪問。

<「いぶり」のゆるキャラ大集合！キャンペーン>

日 程：10月10日～11月9日
媒 体：胆振総合振興局公式SNSアカウント（Facebook・Instagram・X（旧Twitter））
内 容：胆振地域の知名度の向上及び胆振地域への誘客を目的として、胆振管内のゆるキャラを活用して、管内の魅力的な特産品や観光地の情報を発信しているSNS（Facebook・Instagram・X（旧Twitter））でキャンペーンを実施。

<ツーリズムEXPOジャパン2023 大阪・関西>

日 程：10月26日～29日
場 所：インテックス大阪（大阪市）
内 容：世界最大級の観光産業イベントである「ツーリズムEXPOジャパン」へ（北海道観光振興機構が北海道ブースとして出展）胆振総合振興局も参加し、道内各地域と連携を図りながら、北海道及び胆振への旅行需要喚起のため国内旅行会社など観光業界関係者向けに商談会を実施するとともに、一般消費者向けにパンフレット配布などによる観光プロモーションを実施。

○ 観光プロモーション（教育旅行）

<東北（青森県）向けプロモーション>（再掲）

日 程：11月27日～28日
場 所：弘前市民会館（弘前市）、青森市はまなす会館（青森市）、青森県観光物産館アスパム

(青森市)

内 容：室蘭市長、登別市長、壮瞥町長、洞爺湖町長及び振興局長らが、青森県内の旅行会社・学校関係者及び一般客向けに胆振管内の観光コンテンツ及び教育旅行コンテンツについてPRするとともに、青森県観光国際交流機構との意見交換会を実施。

<北海道教育旅行相談会>

日 程：12月4日～7日

場 所：AP名古屋（名古屋市）、AP大阪茶屋町（大阪市）、AP横浜（横浜市）、AP浜松町（東京都）

内 容：北海道観光振興機構が名古屋・大阪・横浜・東京で開催した北海道教育旅行相談会に参加し、学校関係者と旅行会社向けに胆振管内の教育旅行コンテンツ情報の提供、意見交換会を実施。

○ 観光素材商品促進事業

<HOKKAIDO BALLPARK F VILLAGE ファイターズ×胆振地域 関係事業者交流会>

日 程：2月13日（苫小牧市）、3月13日（洞爺湖町）

場 所：グランドホテルニュー王子（苫小牧市）

ザレイクビューTOYA乃々風リゾート（洞爺湖町）

内 容：(株)ファイターズスポーツ&エンターテイメントと胆振管内事業者との連携を目的として、Fビレッジ説明会やプレミアムバスの見学を実施。

<モニターツアー>

日 程：8月16日～18日

場 所：豊浦海浜公園キャンプ場（豊浦町）、財田キャンプ場（洞爺湖町）、オロフレキャンプ場（壮瞥町）、ブウベツの森キャンプ場（白老町）、安平町ときわキャンプ場（安平町）、穂別キャンプ場（むかわ町）

内 容：紙媒体やWebメディアで地域情報等の発信を手がけているライターやカメラマン等を招へいし、夏のキャンプ場の視察や宿泊体験を行い、今後の更なる情報発信強化のための意見や感想を聴取するモニターツアーを実施。

● いぶり・食ブランド推進事業の実施

○ 「北海道どさんこプラザ札幌店」における「北海道いぶりフェア」の開催

日 程：2月1日～7日

場 所：北海道どさんこプラザ札幌店（札幌市）

内 容：胆振管内の特産品のPR及び販路拡大を図るため、北海道どさんこプラザ札幌店において、地域の特産品を販売。

販 売：全31事業者 123商品

○ 大阪市での「北海道いぶりフェア」の開催

胆振管内の特産品のPR及び販路拡大を図るため、大阪市において、地域の特産品を販売。

<「北海道どさんこプラザあべのハルカス店」における「北海道いぶりフェア」の開催>

日 程：3月1日～7日

場 所：北海道どさんこプラザあべのハルカス店（大阪市）

販 売：全14事業者48商品

<「阪神梅田本店」における「北海道いぶりフェア」の開催>

日 程：10月17日～22日
場 所：阪神梅田本店（大阪市）
販 売：全10事業者29商品

○ 北海道ハイウェイ Show Area 2023 in 有珠山 SA

日 程：9月16日～17日
場 所：有珠山SA（上り線）（伊達市）
内 容：NEXCO 東日本室蘭管理事務所と連携し、有珠山 SA（上り線）において、胆振管内の特産品販売や観光情報案内、パンフレット配布による観光の PR を実施。（参加事業者数：全16事業者 うち胆振地域12事業者）

○ 胆振・日高 食のブランド・ステップアップ相談会

日 程：10月2日
場 所：静内エクリップスホテル（新ひだか町）
内 容：胆振及び日高管内の食関連事業者を対象に、百貨店のバイヤーや通信販売の仕入担当者などの食の専門家を招き、商品開発や改良、販路開拓、経営相談などに関する相談会を開催。（参加事業者数：胆振地域6事業者）

○ 胆振エリア地域ワークショップ

日 程：11月16日、12月4日
場 所：生涯学習センターきらん（室蘭市）
内 容：胆振の食に関わる全ての方を対象に、地域の新たな食のビジネスモデルを創出するため商品開発から販路拡大などの手法や実例を学び、様々な業種との連携強化のきっかけを図るワークショップを開催。（参加事業者数：胆振地域10事業者12人）

○ 胆振・日高 食のオンライン商談会

日 程：12月6日、11日
場 所：オンライン
内 容：胆振及び日高管内の食関連事業者を対象に、バイヤーとのオンラインでの地域製品の販路拡大を図る商談会を開催。（参加事業者数：胆振地域3事業者）

○ 食品加工研究センター 地域セミナー in 室蘭

日 程：12月7日
場 所：むろらん広域センタービル（室蘭市）
内 容：地方独立行政法人北海道立総合研究機構産業技術環境研究本部食品加工研究センターが胆振総合振興局と共催で、食関連企業の付加価値の高い製品開発等を技術面から支援することを目的としたセミナーを開催。（参加者数：全26名）

農務課

● 令和5年度胆振管内スマート農業研修会を開催

胆振地域の農業就業人口を見ると、70歳以上の構成比率が全道平均を上回っており、高齢化・労働力不足が課題である。

労働力の有効活用については、スマート農業技術の普及拡大による省力化を推進しており、8月30日にスマート農業の現状や効果、先進的な取り組みなどを紹介する「令和5年度胆振管内スマート農業研修会」を壮瞥町で開催した。

研修会のテーマはドローンとし、作業に必要な基礎知識や、果樹用ドローンの紹介、ドローンに係る情報提供の他、水稻ほ場でドローンによる薬剤散布のデモンストレーションを行った。

○ 「令和5年度胆振管内スマート農業研修会」

日 程：8月30日

場 所：壮瞥町（壮瞥町地域交流センター 山美湖）

出席者：胆振管内農業者、管内関係者 50名

● 令和5年度（2023年度）有機農業技術に関する現地研修会の開催

「みどりの食料システム戦略」及び「みどりの食料システム法」に基づき、道では、「みどりの食料システム法に係る北海道基本計画」を策定し、農業における環境負荷低減事業活動を推進している。

安平町は、有機農業に代表される環境保全型農業を積極的に推進してきており、道内では唯一「オーガニックビレッジ宣言」を行っている。8月24日同町にて、「令和5年度（2023年度）有機農業技術に関する現地研修会in胆振」を開催した。研修会では、有機農業に関する直近の技術的知見や取組事例などについての情報を交換したほか、千歳市及び安平町の農場で実施した現地視察においても、生産者同士の活発な意見交換が行われた。

○ 「令和5年度有機農業技術に関する現地研修会」

日 程：8月24日

場 所：安平町（安平町早来町民センター）

出席者：胆振管内・管外農業者、管内関係者 70名

林務課

● 胆振東部地震に係る復旧の取組

- ・ 治山事業による復旧工事の実施
- ・ 被災森林の土壌調査結果に基づく植栽可能範囲への植栽と経過調査

● ゼロカーボン×震災復興・森林再生

○ 被災木物産展の開催・被災地発信

日 程：5月28日

場 所：厚真町幌内

内 容：北海道植樹祭会場にて、被災木を活用した木製品販売やノベルティ配布等実施

○ 住民が参加する緑化・植樹イベントの開催

日 程：10月24日

場 所：厚真町吉野地区
 参加者：地域住民等44名
 内 容：さくら植樹会を実施

○ 企業等による森林再生サポート

日 程：11月6日
 場 所：厚真町内
 参加者：企業の社員、起業を検討している個人等19名
 内 容：被災森林等を巡るバスツアーの開催

● 林業担い手の育成・確保に関する取組

- ・胆振地域林業担い手確保推進協議会の開催
- ・北海道立北の森づくり専門学院生に対する地域実習等の実施
- ・胆振林業青年部の活動への支援
- ・高校生等を対象とした林業現場体験バスツアーの実施

日 程	対 象	参加者	内 容
9月4日	追分高校	1年生15名	胆振東部地震被災森林、植栽地、伐採作業現場、北大苫小牧研究林及び製材工場の見学（厚真町、苫小牧市）
9月5日	穂別高校	1年生11名	北大苫小牧研究林、伐採現場、胆振東部地震被災森林及び植栽地の見学（苫小牧市、厚真町、むかわ町）
10月13日	厚真高校	1年生28名	胆振東部地震被災森林、植栽地、伐採作業現場及び製材工場の見学（厚真町、苫小牧市）
10月23日	壮瞥高校	1年生12名	製材工場、植栽地及び伐採現場の見学（苫小牧市、豊浦町）
10月26日	鶴川高校	1年生16名	植栽地、ドローン飛行見学及び枝打ち体験（むかわ町）
12月2日	親子	高校1年生1名 とその父母1名 1組	伐採作業現場及び植栽地見学（苫小牧市）

● 第73回北海道植樹祭の開催

森林づくりの意義や森林の持っている大切さを広く普及啓発するため、昭和25年から毎年全道で開催地を選定して開催。令和5年(2023年)については、胆振東部地震の被災から5年の節目を迎える厚真町において、震災からの復興状況、継続して森を守り育てていくことの大切さや木育を発信。

日 程：5月28日
 場 所：厚真町字幌内
 内 容：式典、参加者及び代表者による植樹、木育マイスターによるワークショップなど
 参加者：約500名

水産課

● 「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」の開催

北海道では昭和60年の湧別町での第5回大会以来の開催となる「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」が9月17日に厚岸町で天皇皇后両陛下ご臨席のもとで開催された。

大会開催までの間、胆振管内を含め道内各地で、記念リレー放流や魚食・食育普及活動など、大会に関連した活動が行われ、管内でもマツカワ稚魚の放流や食育授業を行った。

● ALPS処理水海洋放出に伴う中国政府の日本産水産物の輸入停止

ALPS処理水海洋放出に伴い、中国政府が日本産水産物の輸入を全面的に停止し、中国に輸出していたホタテガイやナマコ等の水産物に影響が及んだことから、道産水産物の量販店等における緊急的な消費喚起や各種イベントにおいて消費拡大のためのPRなどの取組を行った。

● 地域住民への地元食材PRの実施

胆振管内で漁獲される水産物の魅力発信や魚食普及拡大の取組の一環として、振興局独自事業により、「いぶりのお魚フェア」や「いぶりのお魚クッキングスクール」など実施。

室蘭市及び近郊のコープさっぽろ各店の協力を得て、管内で漁獲された新鮮な水産物を使用したお惣菜を、「魚屋お惣菜コーナー」において販売した。

また、一般消費者に地元水産物を使用した家庭向け料理の調理方法を学ぶ「クッキングスクール」を10月28日に北斗文化学園インターナショナル調理技術専門学校の協力を得て開催し、「いぶりのお魚」の魅力発信や魚食普及の取組など行った。

● 北海道大谷室蘭高校にて食育授業を実施

胆振管内漁業士会（事務局：産業振興部水産課）では、毎年、北海道大谷室蘭高校から食育出前授業実施の要請があることから9月13日の授業時間に行った。

食育授業では、事務局や漁業士から生徒に対し「胆振管内の水産業の現況やほたてがい養殖業」について講義を行うとともに、ホタテガイの殻剥きの実演や指導を行った。

● 食べる・たいせつフェスティバル2023に出展

胆振管内漁業士会（事務局：産業振興部水産課）では、地域において食育・魚食普及活動に取り組んでおり、9月に室蘭市で、10月に苫小牧市で開催されたイベントに出展。

室蘭会場では、「ホタテガイの殻剥き体験」、苫小牧会場では、胆振太平洋ホッキ貝振興協議会と共催で「ホッキガイの殻剥き体験」を行い、各会場で漁業士が参加者の子供達に貝の殻剥きの実演や指導を行い、参加者は自らが殻剥きした貝を試食した。

苫小牧会場では、当該「ホッキガイの殻剥き体験」コーナーが、子供達がわかりやすく楽しめる体験ができたことが評価され、最優秀賞を受賞。

● 漁業権の一斉切替

共同漁業権及び海面区画漁業権が8月末、定置漁業権及び内水面区画漁業権が12月末でそれぞれ免許の存続期間が満了を迎え、漁業法に基づく漁業権の一斉切替が行われた。

- ・ 共同漁業権 令和5年9月1日～令和15年8月31日
- ・ 海面区画漁業権 令和5年9月1日～令和10年8月31日
- ・ 定置漁業権、内水面区画漁業権 令和6年1月1日～令和10年12月31日（予定）

● ししゃも資源減少

むかわ町、厚真町及び苫小牧市並びに日高管内で操業される「ししゃもこぎ網漁業」は、漁期前の資源量調査の結果を受け、漁業者自ら操業を見合わせた。

むかわ町では「鵠川ししゃも資源再生調査研究会」を9月に設立し、振興局、道総研栽培水産試験場の協力のもと漁業者による資源量の調査を実施するなど資源回復の取組を始めた。

森林室

● RALLY EAST-IBURI 2023の開催支援

道内のラリー競技クラブが主催する（一社）日本自動車連盟（JAF）公認のラリー「RALLY EAST-IBURI 2023」が厚真町、安平町において開催された。北海道、厚真町、安平町等が後援しており、競技区間として道有林内の林道約 3.8km を開放。

同クラブの主催は初めての試みであり、今回は関係者のみの無観客形式での開催。当日は道内外から参加した 42 台の競技車がクラス別にタイムトライアルレースを繰り広げた。

○ 日時：8月27日、28日

場所：あつまスタードームを発着、安平町の町道（約 1.9km）及び道有林林道（約 3.8km）

内容：上記 5.7km の未舗装路コースを 3 周し、クラス別に合計タイムで競うタイムトライアル

参加：競技車両 42 台

後援：北海道、厚真町、安平町、(株)北海道新聞社、(株)苫小牧民報社ほか

室蘭建設管理部

● 二級河川ブウベツ川改修事業の完成

二級河川ブウベツ川は、白老川水系ウヨロ川に合流する河川で、昭和62年（1987年）8月の洪水により家屋浸水など多大な被害が発生した。このため、平成元年（1989年）より当該計画区間L=3.7kmの河川改修事業に着手した。白老町石山地区などの市街地及び農地の浸水被害防止のため、堤防の新設や河道掘削による河積の拡大を行い、35年を経て今年度（令和6年（2024年）3月）に完成予定である。

● トマチャナイ川砂防事業の完成

トマチャナイ川は、二級河川新冠川に合流する普通河川で、平成18年（2006年）8月の豪雨出水により新冠町道が被災したほか、河道内に不安定土砂が堆積した。次期出水で下流域に土砂流出が懸念されることから、平成22年（2010年）より砂防事業に着手した。人家、消防署、避難所、駐在所、町道、農地を土砂災害から守るため、砂防堰堤工、床固工及び溪流保全工の整備を行い、14年を経て今年度（令和6年（2024年）3月）に完成予定である。

胆振教育局

● 壮瞥小児童が有珠山をガイド ～修学旅行で訪れた鶴田小児童との交流～ (再掲)

壮瞥小の6年生が、6月29日、修学旅行で北海道を訪れた青森県鶴田町立鶴田小6年生と有珠山にて交流した。

本交流は、「北海道いぶり五大遺産」を活用したふるさと教育を進める胆振教育局と修学旅行誘致を進める胆振総合振興局が連携した事業の一環。両校がそれぞれの自然や歴史、特産品を紹介し合うことで、相手地域の特色を学び、自らの地域の魅力についても理解を深めることを目的に実施した。今回の交流に向け、壮瞥小の児童たちは、事前に洞爺湖有珠火山マイスターの指導を受けながら、説明する内容や方法などを何度も見直し、リハーサルを行い、準備を進めてきた。また、両校間でオンライン事前交流を行い、鶴田小は鶴田町や学校について紹介し、壮瞥小は自己紹介と当日のグループを紹介し、当日の交流につなげた。当日は、「ふるさと学習」の一環として壮瞥町や洞爺湖有珠山ジオパークなどについて学んでいる壮瞥小の6年生が、ガイド役を務めて学習の成果を発表。壮瞥小児童が「昭和新山」「洞爺湖」「壮瞥の名産」をテーマに景色の異なる3つの場所に説明ブースを設け、鶴田小児童は学級毎に3つのブースをそれぞれ巡回し、イラストや写真を示しながら行う壮瞥小児童の説明に対して、うなずいたりクイズに答えたりして、火山のエネルギーや自然の壮大さ、りんごなどの特産物についての理解を深めた。

壮瞥小児童は、「発表準備にあたり、自分たちも知らなかったことを知ることができて楽しかった。」「鶴田小のみなさんの反応がよく、発表しやすかった。」などと振り返り、より学びを深めていた。

2024年に予想される動き

<胆 振 版>

2023年12月

胆振総合振興局



<目次>

地域政策課	1
● 「北海道いぶり五大遺産」魅力発信事業	
● 移住・定住、関係人口創出に向けた取組	
環境生活課	1
● ゼロカーボンカレッジの継続と水平展開	
商工労働観光課	1
● 胆振地域人材確保・定着促進事業の実施	
● いぶり観光・教育旅行誘致促進事業の実施	
● いぶり・食ブランド推進事業の実施	
農務課	2
● いぶり人材確保・産業活性化推進事業の実施	
林務課	3
● 胆振東部地震に係る復旧の取組	
● ゼロカーボン×震災復興・森林再生	
● 林業担い手の育成・確保に関する取組	
水産課	3
● 地域住民への地元食材PRの実施	
● 改正遊漁船業の適正化に関する法律の施行	
● 資源管理計画から資源管理協定への移行	
室蘭建設管理部	4
● 滝之町伊達線 上立香橋架替工事の着手	
胆振教育局	4
● 地域間ふるさとオンライン交流会 ～胆振のいい感じを知ろう～ の開催	

地域政策課

● 「北海道いぶり五大遺産」魅力発信事業

○ 五大遺産ポータルサイトの運営

道内外に広く北海道いぶり五大遺産を周知するため、五大遺産関連イベント等を幅広く掲載し周知。

● 移住・定住、関係人口創出に向けた取組

移住・定住プロモーション

○ JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024への出展

東京ビックサイトで開催される「JOIN移住・交流&地域おこしフェア2024」((一社)移住・交流推進機構主催)にブースを出展し、来場者へ「いぶり暮らし」をPRする。(1月13日～14日)

環境生活課

● ゼロカーボンカレッジの継続と水平展開

北海道伊達開来高等学校にてゼロカーボンカレッジを継続実施するほか、管内他校への水平展開を模索する。

商工労働観光課

● 胆振地域人材確保・定着促進事業の実施

胆振地域の人手不足を解消するため、地元企業における採用力強化と就業環境の充実に向けた取組を行い、人材の地元定着とともに、良質な雇用機会の確保を図る。

<合同企業説明会>

多様な求職者と人手不足企業をマッチングするため合同企業説明会を開催。

開催地	室蘭市	苫小牧市
日時	2月4日	1月28日
場所	室蘭中小企業センター	苫小牧市民活動センター

● いぶり観光・教育旅行誘致促進事業の実施

観光需要の回復に向け、地域資源を磨き上げ、活用しながらインバウンドを含む観光客や道外からの教育旅行の誘致を図る。

<米国富裕層インバウンド取込事業>

日時：令和6年1月～2月

開催地：胆振管内

内容：アメリカ人の有識者を招へいし、管内の観光素材の評価点検を実施する。

<観光素材商品化促進事業（モニターツアー事業）>

日時：令和6年1月10日～11日

開催地：胆振管内

内 容：紙媒体やWebメディアで地域情報等の発信を手がけているライターやカメラマン等を招へいし、冬のキャンプ場の視察や宿泊体験を行い、今後の更なる情報発信強化のための意見や感想を聴取するモニターツアーを実施する。

< SNS キャンペーン >

日 時：令和6年1月24日～2月21日

媒 体：胆振総合振興局公式 SNS アカウント（Facebook・Instagram・X(旧Twitter)）

< ツーリズム EXPO ジャパン 2024 >

日 時：令和6年9月26日～29日

開催地：東京ビッグサイト

● いぶり・食ブランド推進事業の実施

< 北海道食品産業協議会「事例に学ぶ 食のゼロカーボン勉強会2024」 in 苫小牧市 >

日 時：令和6年1月24日

開催地：グランドホテルニュー王子（苫小牧市）

内 容：一般社団法人北海道食品産業協議会は経済部食産業振興課と共催で、食品製造業等の責任者や従業員、食振興に携わる行政機関や試験研究機関などの皆様を対象に、省エネや食品ロス削減の必要性についてセミナーを開催する。

< 「北海道どさんこプラザ札幌店」における「北海道いぶりフェア」の開催 >

日 時：令和6年2月7日～13日

開催地：北海道どさんこプラザ札幌店（札幌市）

内 容：胆振管内の特産品のPR及び販路拡大を図るため、北海道どさんこプラザ札幌店において、地域の特産品を販売。

農務課

● いぶり人材確保・産業活性化推進事業の実施

< いぶり就農フェアの開催 >

日 時：令和6年1月9日～14日

① 1月9日（火）～12日（金） いぶり就農フェアPR 及び 胆振農業の魅力展

② 1月13日（土）、14日（日） いぶり就農フェア

※13日出展 伊達市、壮瞥町、厚真町、むかわ町

14日出展 苫小牧市、豊浦町、安平町

両日出展 いぶり農業法人ネットワーク

開催地：イオンモール苫小牧（苫小牧市） 1階通路

内 容：農業現場において、担い手及び従事者が減少していることから、農業に関する情報発信並びに胆振管内への新規就農・農業法人への就職のPR及び相談会を行うことにより、管内の潜在的な農業者の掘り起こしを行う。

林務課

● 胆振東部地震に係る復旧の取組

- ・ 治山事業による復旧工事の実施
- ・ 胆振東部地震森林再生実施計画に基づく森林の復旧及び路網整備の実施

● ゼロカーボン×震災復興・森林再生

- ・ 被災木物産展の開催・被災地発信
- ・ 住民が参加する緑化・植樹イベントの開催
- ・ 企業・団体による森林再生サポート

● 林業担い手の育成・確保に関する取組

- ・ 胆振地域林業担い手確保推進協議会の開催
- ・ 高校生を対象とした林業現場体験バスツアーの実施
- ・ 北海道立北の森づくり専門学院生に対する地域実習等の実施
- ・ 胆振林業青年部の活動への支援

水産課

● 地域住民への地元食材 PR の実施

胆振管内で漁獲される水産物の魅力発信や魚食普及の取組の一環として、振興局独自事業により、地域住民への地元食材 PR を企画。

魚食普及を図るため、室蘭市及び近郊の一般消費者を対象とした「いぶりのお魚クッキングスクール」を開催する。

また、地域で漁獲される「スケトウダラ等」の食品効果をPRするとともに、継続的により多く消費してもらうための仕組みを検討する。（管内こども食堂での料理提供などを予定）

● 改正遊漁船業の適正化に関する法律の施行

近年、遊漁船における死傷事故が増加傾向にあることや、令和4年4月に知床沖で発生した遊覧船の重大事故等を受け、遊漁船における安全性の向上と地域水産業との調和を図るため、同法の一部が令和5年6月に改正され、令和6年4月1日から施行される。

◆ 漁船業の安全性向上に向けた措置の改正概要

- ・ 遊漁船業者の登録・更新制度の厳格化
- ・ 遊漁船業者の安全管理体制の強化
- ・ 利用者の安全等に関する情報の公表等の措置
- ・ 罰則強化

◆ 地域の水産業との調和に向けた自主的な取組を促進する措置の改正概要

- ・ 遊漁船業に関する協議会制度の創設

● 資源管理計画から資源管理協定への移行

これまで北海道では「資源管理指針」を作成し、同指針に沿って関係漁業者自らが「資源管理計画」を作成し実施する資源管理体制を平成23年から導入し実施してきた。

今般、同計画を「新たな資源管理の推進」として、改正漁業法に基づく関係漁業者が締結する「協定」に移行し、更なる資源管理を推し進める。

室蘭建設管理部

● 滝之町伊達線 上立香橋架替工事の着手

滝之町伊達線の上立香橋は、昭和49年の完成から48年経過し、河床洗掘により橋梁安全性の低下がみられ、また、有珠山火山避難計画で避難経路になっていることから、架替により安全・安心な道路交通を確保し、地域防災に資する避難路を整備予定である。

胆振教育局

● 地域間ふるさとオンライン交流会 ～胆振のいい感じを知ろう～の開催

胆振教育局では、胆振総合振興局と連携して、いぶり五大遺産をはじめとする地域資源を教育素材として活用しながら「ふるさと」（地域）を学ぶ場・機会の充実に取り組んでいる。

今回は、胆振管内の他の地域を学ぶための取組として、児童・生徒が胆振総合振興局と胆振教育局の若手職員の交流研修会において企画立案し、今年度作成した地域の魅力を伝える胆振地域に関する動画を視聴することなどを通じて、管内各地域の魅力を知り、子どもたちの「ふるさと胆振」への愛着や誇りを醸成し、「ふるさと」の未来に積極的に関わろうとする人材を育成する交流会を実施する。

また、胆振出身であり、現在は北海道日本ハムファイターズで活躍している根本悠楓選手のふるさと胆振へのメッセージ動画の視聴も予定している。

日 時：令和6年1月10日（水）10時00分～11時30分

開催方法：オンライン開催（ZOOM）

対象者：管内市町の小・中学生